

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-83	中学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号		教科書名	
15 三省堂	国語 015-72		現代の国語 1	

1 編修の基本方針

個別最適な学びと協働的な学びの実現

主体的に学ぶ

学び方を習得し、見通しをもって自覚的に活用しながら、学びに向かう力を高めます。

対話を通して学ぶ

他者との交流・共有を通して、多様な価値観が共生する社会で生きる力を高めます。

深く学ぶ

知識・技能と思考力・判断力・表現力を確実に育成し、言語文化の担い手を育てます。

この教科書は、教育基本法に掲げられた目標及び学習指導要領の目標を達成するために、次の6点を基本方針として編修しました。

主体的に学ぶ

1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

対話を通して学ぶ

3 かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

深く学ぶ

5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

- 「領域別教材一覧」に示した「つきたい力」や、各教材の冒頭に示した目標によって見通しをもち、自律的に学習を進め、振り返ることによって身につけた力の自覚と達成感、次の学びへの意欲が得られるように構成しました。
- 小学校からの接続に配慮し、基礎・基本を確実に習得する学習からスタートして、身につけた力を繰り返し活用しながら、無理なく段階的に国語の力を伸ばしていくことができるよう、系統的に構成しました。

2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

- 多様な学習活動に活用できる「学び方」を身につけることを重視しています。
- 各学年のはじめには、基本となる「読み方」に焦点化して学習する「プレ教材」を設定しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材や「読むこと」教材の「学びの道しるべ」には、思考と語彙に関する解説を設けて、「知識・技能」の確実な習得を図り、豊かな活用への道筋を開いています。

3 かかわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

- 対話・交流・共有によって学習を進めていくことを大切にしています。相手や目的などの条件を意識して的確に表現する力を育成できるようにしました。
- 考えの異なりを対話によって理解し合い、より創造的な合意を生み出すことができるような学習の流れを重視しています。

4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

- 多様な考えをもつ他者とのかかわりによって、異なる意見を尊重しながら、自分のものの見方・考え方を拡充できるような学習活動や教材を設定しました。
- さまざまな価値観が並立するグローバル社会、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるよう、題材を選定し、単元を構成しました。

5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

- 多くの知識を蓄え、技能を習得することとともに、それらを活用して「自分の考え」を形成することへと展開しています。
- 「何がわかり、できるようになったか」ととどまらず、「あなたはどのように考えるか」と繰り返し問い、自分自身にとっての切実な問題として学習が成立するように構成しました。
- 思考や表現によって「自分の考え」をつくり、対話を繰り返しながら自己認識と他者理解を深めていくことを目指しています。

6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

- 社会生活の中で読書に親しみ、言語文化にふれて自らを豊かにする誘いとなるような教材を配列しました。
- 生涯にわたって本を読み続け、さまざまな言語文化にみずみずしい興味・関心をもち、その担い手となることを願って、学習活動や資料を設定しました。

2 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について、主な教材を取りあげ、該当ページを示しました。

	図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
	領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
本編	読むこと	詩	朝のリレー (谷川俊太郎)	<ul style="list-style-type: none"> ●「朝を迎える」という行為を「朝をリレーする」「交替で地球を守る」と捉える詩人のものの見方に出会うことで、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。 ●地球規模の視点をもつ機会を与え、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	22～25
		物語	空中ブランコ乗りのキキ (別役実)	<ul style="list-style-type: none"> ●主人公の確かで強い価値観を周囲の登場人物との関係の中で読み深めていくことを通して、個人の価値を尊重し、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。 	66～77
		小説	トロッコ (芥川龍之介)	<ul style="list-style-type: none"> ●孤独感や焦燥感など、揺れ動く少年の心情を描いた小説を読むことを通して、自主及び自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。 	172～183
		小説	少年の日の思い出 (ヘルマン=ヘッセ [訳] 高橋健二)	<ul style="list-style-type: none"> ●少年期の繊細で傷つきやすい心理や葛藤を巧みな筆致で描きだした小説を読むことを通して、豊かな情操と道徳心を培うことをねらいとしています(第一号)。 	206～219
		随筆	字のない葉書 (向田邦子)	<ul style="list-style-type: none"> ●疎開で遠く離れる幼い子を思う父の姿を描いた作品を読むことを通して、家族のぎずなの強さやその大切さを感じ取り、豊かな情操を培うとともに、生命を尊ぶ態度を養うことをねらいとしています(第一号、第四号)。 ●戦時下における人々の過酷な生活を想像することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	80～85
		説明	クジラの飲み水 (大隅清治)	<ul style="list-style-type: none"> ●クジラの生態を探究する文章を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第四号)。 	48～55
		説明	一〇〇〇円の価値を考える (八木陽子)	<ul style="list-style-type: none"> ●お金の本質や歴史についての理解を深め、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第二号)。 	98～105
		説明	意味と意図 ——コミュニケーションを考える (川添愛)	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションは多くの知識の共有のうえに相手の意図を理解し合うことで成り立っているという筆者の主張を読み取り、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画する意識を高める態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 	190～197
		読み方を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> ●読みの方略を学ぶことを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。 	44, 78, 86, 106, 165, 184, 198, 220	
我が国の言語文化		解説	月を思う心	<ul style="list-style-type: none"> ●月を愛で、月を題材にした歌を詠み継いできた伝統と文化について理解を深め、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	116～117
		古文	竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国最古といわれる物語を現代とのつながりを考えて読むことを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。 	118～131

図書の構成・内容			特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ)
領域	文種など	教材名	*教育基本法第2条各号に関連する学習のねらいを示します。	
本編	話すこと・聞くこと	グループディスカッション	●課題解決や思考の深化を促す話し合いのこつを、集団による学習で実感することを通して、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	36～39
		スピーチ	●自分の考えを明確にするための構成を工夫し、効果的な伝え方を身につける学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことをねらいとしています(第二号)。	110～113
	書くこと	レポート	●身近な課題を見つけ、それに関する情報を集めて整理しレポートを書くことで、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うことをねらいとしています(第一号)。	58～63
		行事案内リーフレット	●学校行事を地域社会に向けて案内するリーフレットを作成して発信する活動を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。 ●学校行事を広く地域社会に告知し、来場した地域の人々と交流し、一体感をもつことによって、郷土を愛する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	154～157
資料編	◎広い知識を身につけ、自主および自律の精神を養うことに資するものとして、さまざまな学習機会を捉えて繰り返し活用すべき実践的知識や方法とともに、家庭学習を含めた自学自習に役立つ教材を「資料編」としてまとめました(第一号、第二号)。			243～ 折り込み
	読書の広場	小さな図書館	●「幅広い知識と教養」「真理の探求」「豊かな情操と道徳心」「勤労の精神」「生命や自然」「伝統と文化」「国際社会の平和」などを尊重し涵養するための読書活動を推進することを意図して、47冊の本をテーマ別に紹介しています(第一号、第二号、第三号、第四号、第五号)。	244～249
		落語 桃太郎 (もとしたいづみ)	●親しみやすい内容の落語を味わうことで、我が国の伝統と文化を尊重し、そのよさを理解するとともに、文化継承の担い手としての精神を養うことをねらいとしています(第五号)。	288～291
		日本文学名作集	●奈良時代から現代の小説にいたるまで、各時代の代表的な作品やその冒頭を紹介した年表に親しむことを通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことをねらいとしています(第五号)。	292～295
	社会生活に生かす	著作権と引用	●著作権や引用の仕方に関する基礎的な知識を身につけることで、さまざまな情報源にアクセスし、幅広い知識と教養を身につけたり、真理を求める態度を養ったりすることをねらいとしています(第一号)。	302～303
		質問の仕方	●質問を工夫して相互の理解を進め、コミュニケーションを活発にし、思考を深めることを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことをねらいとしています(第二号)。	306～307
		話し合いの形式を選ぶ	●集団におけるさまざまなコミュニケーションの形式を学ぶことで、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことをねらいとしています(第三号)。	308～309

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

すべての学習者が学習しやすい紙面づくり

- ユニバーサルデザインに配慮しています。特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザインの専門家の指導と校閲のもと、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫しました。

特別支援教育への配慮

- 各教材の冒頭に学習のねらいを提示し、学習活動の手順を丁寧に示しました。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習手順を上段に、学習のポイントや参考となる情報を下段に示すなど情報を整理し、わかりやすく、スムーズな学習指導に資するレイアウトとなるよう工夫しました。
- 情報のまとまりを線で囲んだり太字にしたり、重要な情報を大きく示したり、図版と図版の間を空けたりすることで、わかりやすく、見やすくしています。
- 挿絵・図版を適所に配置し、学習者の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えています。各学年の「読み方を学ぼう」や「思考の方法」では、文章での解説は簡潔に示し、わかりやすい図解を用いることで、内容を視覚的に捉えられるように工夫しました。

カラーユニバーサルデザインへの対応

- 色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫しました。
- 識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設けました。
- 色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるようにしました。
- 識別しやすい色を追究し、古典教材の現代語訳では、色覚の特性による見え方の差が少ない青色を用いました。

二次元コードコンテンツで個別最適な学びを支援

- 解説動画、朗読音声、漢字や文法のデジタルドリル、補充教材、ワークシート、参考資料等の豊富なコンテンツを参照先で提供し、学びを深めるとともに、個別最適な学びを支援しています。

環境にやさしい教科書

- 用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

その他の配慮事項

- 製本は堅牢で、十分な耐久性を備えています。
- 教材で使用している文字については、独自の明朝体・ゴシック体・教科書体を開発して、画数や点画の方向等においても誤解が生じないようにしました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

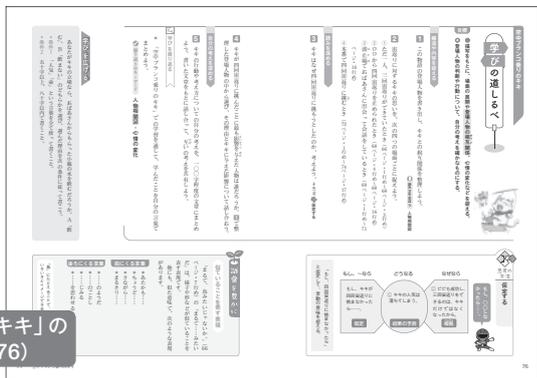
受理番号	学校	教科	種目	学年
105-83	中学校	国語	国語	1
発行者の番号・略称		教科書の記号・番号	教科書名	
15 三省堂		国語 015-72	現代の国語 1	

1 編修上特に意を用いた点や特色

主体的に学ぶ

1 自ら学ぶ力を育てる — 見通しと振り返り、学びに向かう力

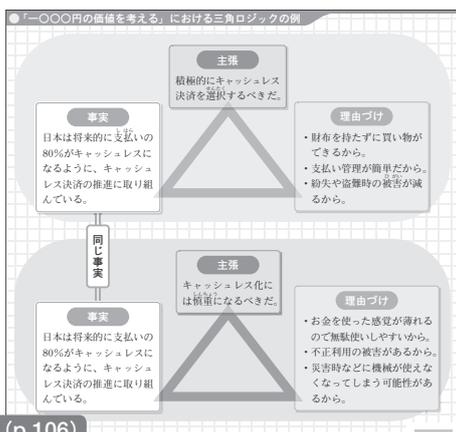
- 各教材冒頭に「つきたい力」として学習目標を提示し、教材の最後には学習を振り返る機会を設けました。身についた力を自分で診断・評価し、次に生かすしくみです。
- 学習指導要領の指導事項をふまえて学習の系統化を図り、基礎・基本を段階的に、確実に習得できるようにしました。「読むこと」教材の「学びの道しるべ」では、丁寧かつ簡潔に学習のプロセスを示しました。



「空中ブランコ乗りのキキ」の「学びの道しるべ」(p.76)

2 活用できる力を育てる — 学び方を学ぶ、言葉で考える力、語彙の拡充

- 「読み方を学ぼう」では、「何をどのように読めば力がつくのか」という読みの方略を図解で示しました。他教材や自主的な読書、表現活動などで繰り返し活用できる全22の方略を3学年に配置しています。
- 各方略は、「学びの道しるべ」の課題と関連づけて示しています。
- 巻末には、『「読み方を学ぼう」一覧』を示しました。



「読み方を学ぼう④ 三角ロジック」(p.106)

▶ 各教材での学習の流れ (例「読むこと」)

見通し

ステップ1 目標の確認

目標を確かめて、学習の見通しをもちます。

ステップ2 構造や内容を捉える

情報を整理・確認して、文章の構造や内容をつかみます。自学自習にも対応した課題を設定しています。

ステップ3 読みを深める

文章を詳しく読み、対話を通して内容や構成・表現の仕方についての理解を深めます。

ステップ4 自分の考えを深める

文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを深めたり、広げたりします。

振り返り

ステップ5 学びを振り返る

自分の学習を振り返って評価し、これからの学習へ生かします。

+α 学びを広げる

ステップ1~5までの学習を活用して取り組み、学びを更に広げたり、深めたりします。

主体的・対話的で深い学び

▶ 「読み方を学ぼう」の一覧

1年	2年	3年
① 説明文の基本構造	① 人物設定	① 回想
② 人物相関図	② 説明文の論理展開	② 批判的な読み
③ 行動描写	③ 想像	③ 省略
④ 三角ロジック	④ 図表と文章	④ 具体と抽象
⑤ 詩の表現技法	⑤ 物語の転換点	⑤ 状況・背景
⑥ 情景描写	⑥ 象徴	⑥ 反復
⑦ 要約	⑦ 例示	※網掛けは、折り込み形式で説明文の「読み方」を示したものです。
⑧ 語り手・視点	⑧ 心情把握	

- 言葉による見方・考え方をはたらかせ、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり深めたりする方法を「思考の方法」として示しました。
- 3年間を通して、9種類の「思考の方法」をバランスよく配置し、各教材の学習活動の文脈にそって活用できるように図解を中心に示しました。
- 巻頭には、「『思考の方法』一覧」を示しました。
- 各教材の「語彙を豊かに」では、理解できる語句と使える語句の量を増やし、語感を磨くために、さまざまなテーマで教材に関連した語彙を取り上げました。

対話を通して学ぶ

3 かわる力を育てる — 対話・合意形成、コミュニケーション能力

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話を通して考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 第1単元には「グループディスカッション」を設け、話し合いを効果的にするための「コツ」を系統的に示しました。

4 「共生社会」の一員として — 多様な価値観、ものの見方・考え方の広がり

- 価値観が多様化するグローバル社会で求められる幅広い資質・能力の育成につながる題材を精選しました。

深く学ぶ

5 「自分の考え」をつくる — 思考力・判断力・表現力、情報の関連づけ

- 日常生活や現代社会における課題を取り上げ、対話を通して考えたり問題解決したりする機会と場を充実させました。
- 全ての教材において、自分の考えを形成する学習過程を重視しています。
- 第6単元「情報を関係づける」では、図表・文章など多様な情報を関連づけながら、現代の課題について考える学習を設定しました。

6 言葉と文化の担い手として — 豊かな読書、伝統的な言語文化の継承・発展

- 資料編の「読書の広場」には、多様なジャンルの6本の教材を配置しました。豊かな言語文化にふれるとともに、「読み方を学ぼう」で習得した方略を活用できる教材を掲載しています。
- 多くの教材に二次元コードを掲載し、参照先のウェブサイト上に、動画や音声、デジタルドリル、図解した読みの方略や、補充教材として使える資料などを豊富に掲載しています。

「思考の方法」の一覧

思考の方法	対応するチャートの例
① 順序立てる	ステップチャート
② 比較する	比較チャート
③ 分類する	マトリックス(表)、Yチャート
④ 関連づける	イメージマップ、リンクチャート
⑤ 多角的に見る	バタフライチャート、フィッシュボーン
⑥ 理由づける	クラゲチャート
⑦ 具体化する	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑧ 抽象化する	ロジックツリー、ピラミッドチャート
⑨ 仮定する	キャンディチャート

「トロッコ」の「思考の方法」と「語彙を豊かに」(p.182~183)

「グループディスカッション」— 話題や展開にそって話し合いをつなげる」(p.36)

「情報—情報を関係づける」(p.146)

2 対照表

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
1 豊かに想像する	詩	朝のリレー (谷川俊太郎)	●読工 文章の構成や展開、表現の効果について考える。 ●読才 自分の考えを確かなものにする。 [言語活動] 読イ 考えを伝え合う	22~25	2
	物語	竜 (今江祥智)	●読イ 場面の展開や登場人物の心情の変化を捉える。 ●読工 文章の構成や展開、表現の効果について考える。 [言語活動] 読イ 考えを伝え合う	26~35	4
	話す・聞く	グループディスカッション 話題や展開にそって 話し合いをつなげる	●話聞工 記録したり質問したりしながら内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、考えをまとめる。 ●話聞才 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。 [言語活動] 話聞イ 話し合い	36~39	4
	言葉発見 1	音声のしくみとはたらき	●言葉ア 音声のはたらきやしくみについて理解を深める。	40~41	1
2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう①	説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 (上田一生)	●読ア 中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などを捉え、要旨を把握する。 ●読工 文章の構成や展開、表現の効果について考える。 [言語活動] 読ア 考えをまとめる	44~47	1
	説明	クジラの飲み水 (大隅清治)	●読工 文章の構成や展開、表現の効果について考える。 [言語活動] 読ア 考えをまとめる	48~55	4
	漢字のしくみ 1	活字と手書き文字・画数・筆順	●言葉イ 常用漢字 (300字~400字) を読む。 ●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。	56~57	1
	書く	レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる	●書ア 集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にする。 ●書イ 段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 [言語活動] 書ア 説明・記録・引用	58~63	5
3 ものの見方・感性を養う	物語	空中ブランコ乗りのキキ (別役実)	●読イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉える。 ●読才 自分の考えを確かなものにする。 [言語活動] 読イ 考えを伝え合う	66~77	4
	読み方を学ぼう②	人物関連図		78	
	文法の窓 1	言葉の単位・文節の関係	●言葉工 単語の類別について理解する。	79	3
	随筆	字のない葉書 (向田邦子)	●読イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉える。 ●読ウ 場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 [言語活動] 読イ 考えを記録する	80~85	3
	読み方を学ぼう③	行動描写		86	
	書く	随筆 体験に向き合い意味づける	●書ア 日常生活の中から題材を決める。 ●書才 読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。 [言語活動] 書ウ 随筆	87~90	5
	漢字のしくみ 2	成り立ちと部首	●言葉イ 常用漢字 (300字~400字) を読む。 ●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。	91~93	1
	私の読書体験	本を読むことのおもしろさ (又吉直樹)	●読才 自分の考えを確かなものにする。 [言語活動] 読ウ 学校図書館などを利用	94~95	2
4 論理的に考える	説明	一〇〇〇円の価値を考える (八木陽子)	●読ア 事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握する。 ●読工 文章の構成や展開について根拠を明確にして考える。 [言語活動] 読ア 考えをまとめる	98~105	4
	読み方を学ぼう④	三角ロジック		106~107	
	言葉発見 2	接続する語句・指示する語句	●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。 ●言葉工 指示する語句や接続する語句の役割を理解する。	108~109	1
	話す・聞く	スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える	●話聞イ 中心的な部分と付加的な部分、事実と意見の関係に注意して話の構成を考える。 ●話聞ウ 相手の反応をふまえながら、表現を工夫する。 [言語活動] 話聞ア 紹介	110~113	5

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数
5 古典に学ぶ	解説	月を思う心	●言語文化イ さまざまな種類の作品があることを知る。 ●読ア 要旨を把握する。 【言語活動】読ア 解説を読む	116～117	1
	古文	竹取物語	●言語文化ア 古文を音読し、古典の世界に親しむ。 ●読イ 登場人物の相互関係、心情の変化を捉える。 【言語活動】読イ 考えを伝え合う	118～131	4
	古文の読み方	古典の仮名遣い	●言語文化ア 文語のきまりを知る。	132	
	コラム	「このあたり」ってどのあたり？	●言語文化イ さまざまな種類の作品があることを知る。	133	
	漢文	故事成語——矛盾	●言語文化ア 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典の世界に親しむ。 ●読工 文章の構成や展開について根拠を明確にして考える。 【言語活動】読イ 考えを記録する	134～137	3
	漢文の読み方	訓読の仕方	●言語文化ア 訓読の仕方を知る。	138～139	
	漢字のしくみ 3	漢字の音と訓	●言葉イ 常用漢字(300字～400字)を読む。 ●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。	140～141	1
	コラム	漢字文化をアレンジする日本の力	●言葉イ 常用漢字(300字～400字)を読む。	142～143	
6 情報に関係つける	解説	マンガ 情報の扱い方	●読ア 事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉える。	146～147	1
	図表	防災に関するデータ	●読ウ 必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 【言語活動】読ウ 考えを報告する	148～149	1
	記録	「みんなでいるから大丈夫」の怖さ (山村武彦)	●読ウ 必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 ●読オ 自分の考えを確かなものにする。 【言語活動】読ウ 考えをまとめる	150～153	2
	書く	行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える	●書工 読み手の立場に立って文章を整える。 【言語活動】書イ 案内・報告	154～157	5
	言葉発見 3	方言と共通語	●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。 ●言語文化ウ 共通語と方言の果たす役割を理解する。	158～159	1
7 読みを深め合う	詩	それだけでいい (杉みき子)	●読ウ 場面と場面を結びつけて内容を解釈する。 ●読工 構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える。 【言語活動】読イ 考えを伝え合う	162～164	2
	読み方を学ぼう⑤	詩の表現技法		165	
	言葉発見 4	比喩・倒置・反復・対句・体言止め	●言葉ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増す。 ●言葉オ 表現技法を理解し使う。	166～167	1
	書く	詩 思いや発見をリズムに乗せる	●書ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から題材を決める。 ●書工 読み手の立場に立って文章を整える。 【言語活動】書ウ 創作	168～171	4
	小説	トロッコ (芥川龍之介)	●読イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。	172～183	5
	読み方を学ぼう⑥	情景描写	●読ウ 場面と描写などを結びつけて内容を解釈する。 【言語活動】読イ 考えを記録する	184	
		芥川龍之介の世界		185	
読書活動	私が選ぶこの一文	●話聞イ 事実と意見との関係に注意して話の構成を考える。 ●話聞工 共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめる。 【言語活動】話聞ア 紹介	186～187	3	
8 視野を広げる	説明	意味と意図——コミュニケーションを考える(川添愛)	●読ウ 必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する。 ●読オ 自分の考えを確かなものにする。 【言語活動】読ア 考えをまとめる	190～197	5
	読み方を学ぼう⑦	要約		198	
	書く	意見文 根拠を明確にして考えを述べる	●書イ 内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える。 ●書ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 【言語活動】書ア 意見	199～202	6
	文法の窓 2	単語の類別・品詞	●言葉工 単語の類別について理解する。	203	3

		図書の構成・内容【教材名】	学習指導要領の内容	該当箇所 (ページ)	配当 時数		
9 振り返って見つめる	小説	少年の日の思い出 (ヘルマン=ヘッセ [訳] 高橋健二)	●読工 文章の構成や展開について根拠を明確にして考える。 ●読才 自分の考えを確かなものにする。 【言語活動】読イ 考えを伝え合う	206～219	5		
	読み方を学ぼう⑧	語り手・視点		220			
	話す・聞く	グループ新聞 一年間の自分とクラスを 振り返って	●話間ア 集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 【言語活動】話間イ 取材・編集会議	222～227	3		
	書く		●書工 読み手の立場に立って文章を整える。 【言語活動】書ア 記録・編集		5		
	歌の言葉	始まりの歌 ([歌] 緑黄色社会)		228～229	—		
		文法のまとめ	●言葉工 単語の類別について理解する。	230～242	—		
資料編	読書の広場	小さな図書館	◎幅広い読書への誘いを示し、学んだことを活用する場を 用意するとともに、読書に親しむ態度の育成を図っている。	244～249	適宜		
		日本十進分類法／本の構造		250～251			
		小説 電車は走る (重松清)		252～257			
		小説 おじいさん (西加奈子)		258～265			
		説明 玄関扉 (渡辺武信)		266～269			
		説明 食感のオノマトペ (早川文代)		270～273			
		随想 この小さな地球の上で (手塚治虫)		274～279			
		古文 古事記		280～285			
		落語の世界		286～287			
		落語 桃太郎 (もとしたいづみ)		288～291			
	日本文学名作集	292～295					
	小倉百人一首	296～301					
	社会生活に生かす	著作権と引用		◎「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習や、 他教科の学習、日常生活・社会生活における言語活動を 支える学びの方法を整理し、国語を適切に表現し正確に 理解する能力の育成や、伝え合う力を高めることを図っ ている。		302～303	適宜
		メモを活用する				304～305	
質問の仕方		306～307					
話し合いの形式を選ぶ		308～309					
辞典を活用する		310～311					
手紙・はがき・メールの書き方		312～313					
原稿用紙の使い方・推敲の仕方		314～315					
読書感想文の書き方		316～317					
参考資料	学習用語辞典	◎国語科の学習を効果的に進める上で役立つ知識を整理し て示し、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度 の育成を図っている。	318～323	適宜			
	語彙の広がり		324～327				
	五十音図とローマ字		328～329				
	一年生で学ぶ漢字字典		330～341				
	一年生で学ぶ音訓		342				
	小学校六年生で学習した漢字		343				
	常用漢字表音訓一覧		344～356				
	常用漢字表付表		357				
	二次元コード参照先コンテンツ 一覧		358～359				
	「読み方を学ぼう」一覧		折込				

※漢字の取り立て教材「漢字を身につけよう」は、年間を通してバランスよく学習できるよう、各単元に年間9箇所(各1時間)配置した。